

發行編輯人 川崎文治

印刷所 島根縣石城郡平町長橋町廿五番地

電話 每日新聞社

定部 五錢

廣告 五錢一行

印刷 每日新聞社

島根縣石城郡平町長橋町廿五番地

電話 每日新聞社

刊夕日八十月十

主演 延川實

『退退狸』

全

品作の社地ふをを程のべ鏡御と

『命運の女彼』

開新日日京東

說小載連

篇・後 前

劇寫寫實地其

帝キネ直營

有聲座

電話 三一 香

第二回寄附者芳名錄

金十圓 新川町 吉田定太郎殿

金二十圓 同 諸橋國松殿

金十五圓 同 松崎長太郎殿

金十圓 同 阿部景治殿

小計五十五圓也

累計三百七十五圓也

(本廣告を以て領收書に代ふ)

大瀧發電所 同 盟會

許可反對 同 盟會

齒科專門 森合齒科醫院

平町白銀町通り

院人 內科 小兒科 皮膚科 花柳病科

青沼醫院

醫學士 青沼淡夫

電話 四〇三番

奇書

俳句は遊戯文字に非ず (上)

豊齋

◎此頃僕の近況を問ふ人に俳句を研究して居ると答へると老後の善いお楽しみでせうと云ふ、又若い人達に俳句の研究を勧めると最少し年寄になつてからにしませうと云ふ、如何して世人少くとも平町の人々は俳句に對して斯う云ふ誤解を抱いて居るのであらう、少しく餘事に涉るが近頃或人が僕に語るに平町は舊い歴史

自動車運轉手及助手募集

一、運轉手 拾名

一、助手 拾名

身體強健志操堅實ナル者採用シタシ

勤務ハ日中九時間、毎日暇休取(給料其他面談の上)

希望者ハ本末迄ニ履歷書(免狀ヲ有スル者ハ免狀ヲモ)持參庶務係マデ出頭相成度

大正十三年十月

内郷村大字宮

警城炭礦株式會社 鑛業部

是非

粹で上品な履物を御求めの際は

三井履物店

電話 五五番

建築ペンキ塗 美術諸看板 硝子金銀文字 其他各種

大音堂

平町四丁目

看護婦派出の求めに應ず

平町南町 看護婦會

電話 三〇七番

主 鈴木米彌

石川商會

南町火見下

電話 呼出二六七番

大々々勉強仕

命ノホト願マシ

迅速ニ配達致シマス

(コンクリート用)

砂利及砂

中山岩採掘販賣

此レニ附隨スル

土工請負業

ある町ながら一切の設備及び言語風俗下つては花柳界の状況等凡て殖民地に於ける新開の町の様な気分がして、其新進潑刺の活況はいかにも快いが、一面おつとりとした深みのある奥床しさの見へぬのはどうした譯かと云はれたが之れは平町の人達が文藝美術に理解が少い爲め日常の生活に潤ひがないからだと云ふのも一の理由として見らるべきではあるまいか、そも俳句は文字の遊戯でもなく、閑人の陳腐しでもなく立流な文學である、而も我日本特有の短小詩形の國民的藝術である、俳句を知るには

丸登株式會社

川添房二郎

平町田町 電話 三二三番

丸登株式會社

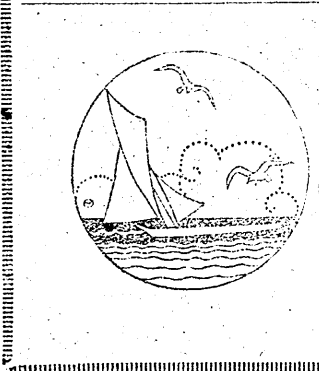
川添房二郎

趣味を解せねばならぬ、酒の味はどんなものか曰く戀の味、如し、戀の味とはどんなものか曰く文藝の味、如し、文藝の味とはどんなものか、曰く酒の味の如しと云はゞ禪坊主の問答の如く何の事やらわからなくなれども元來趣味を感ずべきものであつて必しも説明すべきではあるまい (續)

株式買賣中值

電話に金融致し

銘格	拂込	時價
警城銀行	五〇〇	五三、五
平銀行	五〇〇	六八、〇
警越銀行	一一、五	一〇、五
警城銀行	五〇、〇	四二、〇
警城銀行	三〇、〇	二八、〇
警城銀行	一一、五	一一、五
警城銀行	一七、五	一七、五
農工銀行	二〇、〇	二五、〇
同 新	一五、〇	一九、〇
同 新	五〇、〇	五五、〇
同 新	一一、五	一六、〇
同 新	一一、五	九、八
同 新	五〇、〇	四二、〇
同 新	一一、五	一九、五
同 新	一一、五	七、五
同 新	一一、五	一五、五
同 新	一一、五	一三、〇
同 新	一一、五	二、五
同 新	一一、五	二五、〇
同 新	一一、五	一一、五
同 新	一一、五	二六、〇
同 新	一一、五	一八、〇
同 新	一一、五	三〇、〇
同 新	一一、五	一七、〇
同 新	一一、五	五、〇
同 新	一一、五	四、〇
同 新	一一、五	一八、〇
同 新	一一、五	六二、五
同 新	一一、五	四二、〇
同 新	一一、五	八、〇



### 愛町的の見地から 断然服罪の意を決す

#### 証文事件に關する 明らかな五氏の態度

平三萬町民の頭上に懸かる大瀧發電所問題に關し平電氣側に好意を寄せて反對同盟會を嘲弄し徒らに虚構の事實を紙上に掲げて讀者を惑はしめた元東日通信員石井虎男より証文を徴した事件は

花澤久一郎、鈴木長三郎、馬目武之助、多田井笑次郎、佐藤長造

の五氏に對し罰金各五十圓の言渡あつた旨既記の如くであるが五氏の行動は筆の

**横暴を** 膺懲せんと義憤せる結果此災禍を招くに至つたものであつて一片熾烈なる愛町的熱誠の致さ

### 社會の同情に感泣し 事の落着を願望して

#### 余等は此決心を抱けり 控訴断念の理由

即ち大瀧發電所問題は未だ總べての解決を見るに至らず今後の成行如何に依つては反對同盟會の活躍に待たざるべからざるもの多々あり然るに此際同盟會の副産物たる証文事件の爲めに其力の大半をそがるゝは同盟會の目的達成の上種々の支障を來すものにして余等の本意に非らず

#### 公判廷

に於ける曰  
非裁判長の訊問等は何れも余等の行動に對して充分に理解ある見解に基き唯單なる犯罪者として遇せざりしは言外に溢れて歴々たるものあり殊に在平各辯護士は舉つて自から熱心に辯護の

#### 余等は

例へば縲紲のはづかじめを受くるも雖も一片町を思ふの至誠より

任に當り反對同盟會の同志諸君又余等を慰撫激勵するに萬全の策を構す、斯かる周囲の同情を顧みる時余等は甚大なる社會の知遇に感じて寧ろ一日も早

### 大原會長引責辭退

#### 寧ろ五氏の意嚮に反す

右の決意を齎らして鈴木長三郎氏が大原會長を訪問するや同會長は感激し

「斯かる禍を招かした責任の一端は余も是れを擔はざるべからざるを以つて此際諸氏が服罪を覺悟せる以上余も平然として會長の職をばづかじめ得べきにあらざる爲め此場合引責辭任する」と植頭副會長其他に其意を示せる爲め

### 絹細布で擔ぐ

#### 二七請負師

石城郡磐崎村大字湯長谷仕立職岡村清事岡村豊之助は去月廿一日から去る十五日迄茨城縣湊町龜の湯事佐藤忠作方に宿泊滞在し其間請負師を装ひ磯崎、工事監督に行くと稱し在中七錢の絹細布を勿体らしく同家に預け置き通勤する如く欺きつゝ宿泊代四十八圓卅錢、酒廿三本其他合計六十一圓卅錢を酒食したので同家では同人の不在中預つた財布を出でたので同署では拘留に處し平署に照會して來た



家庭欄

### 老眼の豫防法

老眼は生理上免れる事のできないもので、四十歳乃至五十歳の間に襲ひ來るものです、平常の注意によつて

### 常磐片々

五名の反對同盟會幹部、町の爲めにとの悲壯な覺悟より服罪を決意

栗原、汝は私利私慾に眩惑されたる結果三萬町民の水を奪はんとして遂に犠牲的前科者を出すに至れり

汝はどの面下げて三萬町民にまみえんとす

汝の罪決して輕からず夜深更に及ぶ時ランブ(彼の家に電燈なし)の前に端座瞑目して己が罪業の數々を數

然して若し大悟徹底する處なくんば事業家としての汝の名は永久に此世より葬り去られん

### 自動機關車

#### 四十人乗運轉

石城郡泉村より小名濱を経て江名濱に通ずる馬車軌道は自動機關車に變更し四十人乗りボーギー車を連結すべき計劃にて昨日午前十時より磐城海岸軌道會社の樓上にて同社株主總會を開き資本金十萬圓を増加し廿萬圓と爲すべく決定した因に

### 射撃會延期

#### 來る廿六日に

平獵友會主催濱三郡射撃會は準備の都合に依り來る廿六日に延期したと

### 獻上品台覽

#### 平町の光榮者

皇太子殿下翁島御滞在中獻上品を台覽に供し香坂知事から記念狀を贈られた平町の光榮者は左の如くである  
鈴木勝明、齋藤勝厚、金子角藏、松本愛藏、遠藤松之助、磐城製菓株式會社、山崎與三郎

### 銀星勝つ

#### 十一對八にて

昨日午後一時半から銀星對緑の野球試合が石坂球場、坂本壘審の下に開始され双方互に自重して戦端を交はした結果十一對八のスコアにて銀星大勝したが此日銀星應援團の團旗風に採まれて熱心なる觀衆場内を埋めて賑ひを呈じた

### 消防大會出席

#### 平

消防組から縣下消防組頭大會に出席の爲め柏原幸次郎鈴木長三郎、高野得助の三氏が出席した

### 平町人事

▲出生  
△三丁目 高野虎三郎氏三男長  
▲婚姻  
△研町 那須徳樂氏(三三)那須郡猪苗代町中山キハ(三三)  
△白銀町 松本珠樹氏(三五)山形縣山形市村上(三五)

### 枯損木入札

#### 平監督所にて

本縣では石城郡に於ける左記損木を入札公賣に附すべく入札期日は廿二日午前十一時から平土木監督所に於て執行する由

神谷村鹽字古川松枯木一本、同字風内松枯木三本、同中神谷十二ヶ所内同四本、内郷村綴堀坂同一本、同小島、同一本

教育縣外視察 平教育會にては近く縣外教育視察員五名を選定し補習教育内容充實に關し特に努力して有効と認むべの事項を視察せしめる由

### 平消防夜警成

#### 平消

防組では平驛前巡查派出所の古建物を利用して平署前火の見櫓の下に夜警所を建設すべく本日から着工した

### 弓術優勝争奪

#### 石城

郡弓友會優勝旗争奪戦は十七日午前十時から關の上矢場にて開催優勝旗は西小川支部の手に奪取されたが其他の受賞者は左の如である

(金の)大和田忠吉(揚的) 高木源治(鏡射)一等猪狩厚、二等國府田只界、三等相田三治、四等藤葉庄憲、五等村越三之助

ある程度まで避け得るもので眼を疲勞せしむる事は最もよくないので、弱き光線や強い光線の下で讀書したり細い物を見つめたりますこと、殊に汽車電車など動搖する中で新聞や雑誌の小活字を讀むことは避けねばなりません、そして朝夕必ず清浄な水を數分

### 獵銃家の獲物

#### 平獵

友會幹事水野義之氏及び會員平塚儀一郎、大貫春吉の諸氏は小名濱方面に出獵し小鴨數羽、鴨數十羽、いたち等を打落して意氣揚々引揚げたと

### 平實業リーグ戦

#### 銀星勝つ

昨日午後一時半から銀星對緑の野球試合が石坂球場、坂本壘審の下に開始され双方互に自重して戦端を交はした結果十一對八のスコアにて銀星大勝したが此日銀星應援團の團旗風に採まれて熱心なる觀衆場内を埋めて賑ひを呈じた